

シリーズ④ 学力向上への道

わが校の学力向上の
取り組みについて



学習環境づくりを大切に

小中連携の交流を通して

＊自己有用感・肯定感の向上
小中連携の取り組みの一つに小学校との交流があります。学力向上の基盤となる「自己有用感・肯定感」を高める

とともに、交流を通して児童・生徒が互いに刺激を受け合い、自分の力をしっかりと出し切ったり、相手の頑張りを認め合ったりすることにより、より良い人間関係を築くことをねらいとしています。

以前から、「何事に対しても挑戦し、粘り強く最後まで取り組む」姿勢が弱いという課題がありました。この課題が学力向上にも関係するのではないかと考え、あいさつ・そうじ・学び合いを三大目標に定めて、生徒の主体的な活動を推進しています。生徒たちは、自信を深めながらさまざま

まなことに挑戦しています。

＊マラソン交流

昨年度から2年生が、名和小学校のマラソン大会に参加して伴走やカード配り、応援などそれぞれの役割を決め、運営の手伝いを行っています。

中学生にとっても、伝えることや支えることの難しさ、伝わったときの嬉しさなどを体験し、自己課題を再確認する良い機会になったようです。

【生徒の感想】

・嬉しかったことは、私が「頑張れ！」と言った後でその子



▲中学生が伴走します

どもがペースをあげてくれたことです。また、ゴールした後2年生の子どもたちが、「○位だったよ」と声をかけてくれたことです。

・カードをもらう時「ありがとうございました」と言ってもらえて嬉しかったです。走り終わった人に「お疲れさま」や「頑張ったね!」と言って良かったです。

＊あいさつ交流

月に一回あいさつ交流を行っています。小学校に行き、登校してきた児童や先生とあ



▲大きな声が飛び交います

いさつを交わし、あいさつの大切さを改めて感じながら小学生の手本となるような大きな声であいさつをしています。

＊音楽交流

音楽交流では、中学生の迫力ある歌声を聞いてもらい、普段から学習中に行っている準備体操や発声練習などを一緒に行いました。中学生にとっても小学生との交流で、自己を見つめ直す良い機会になっていきます。

【小学生の感想】

・中学生の声はとてもきれいでした。大きな声を出しているのにきれいで、すごいと思いました。卒業式であんな風に歌えたらいいです。

・上手にできた時「最高!」す



▲中学校流発声練習です

「ごい!」とほめてもらえてうれしかったです。これから歌うときに活かしたいと思います。

＊まとめ

交流後の感想などから、児童・生徒に生きる力の基礎となる自己有用感・肯定感が高まり、内発的学習意欲が向上していることがわかりました。四月の標準学力調査では、「自分が好きである」、「自分のことが好きである」(表1)などの質問で、肯定的な回答をした生徒の割合が全国平均に比べ非常に高い結果を示していました。自己有用感・肯定感の向上とともに、2年生や3年生の学力も伸びています。

